

平成26年 12月 20日



# 多摩支部会報

平成26年秋・冬版

東京都多摩支部  
支部長 安田 暉  
多摩支部広報部会  
042-723-4284



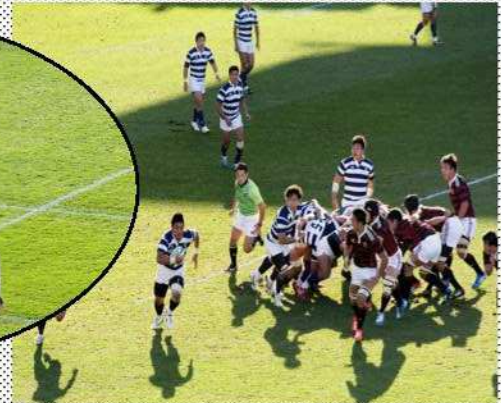
平成26年7月26日の全国支部長会議で、我が稲城地域支部の設立が承認され、地域支部旗を授かりました。

これを祝して、8月24日稲城市地域振興プラザで旗揚式を挙行政しました。

多摩支部内21番目の地域支部です。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

地域支部長 新井宏宣

## 宿敵 早稲田 打倒ならず



宿敵・早稲田を相手に悔し過ぎる一敗を喫した。国立競技場から秩父宮ラグビー場へと会場を移し行われた90回目の明早戦。幸先良く先制した明治だったが終始FW戦で優位に立てず、早稲田の強力BK陣も止めることができなかった。今年得意としてきた終盤に1トライ1ゴール差にまで詰め寄り、何度もエリアを取るもあと一步が届かなかった。試合終了間際にダメ押しの2トライを食らい万事休す。24-37でノーサイドとなった。敗戦後、左PR勝木来幸主将(営4=常翔学園)は「ファンに申し訳ない」と言葉を漏らすのが精一杯だった。(明大スポーツより転載、写真右2枚は町田地域支部一永田氏提供)



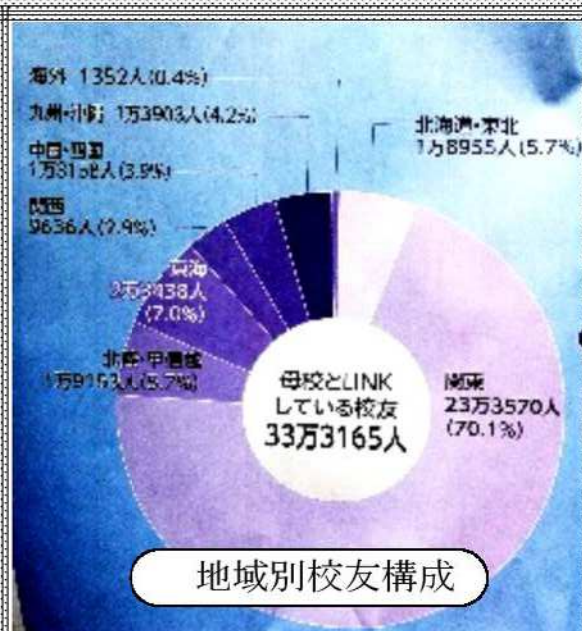
## 全日本大学駅伝 過去最高位の2位

過去最高の2位に輝いた。1区では大きく出遅れたが、2区以降立て直して成功。3区の有村優樹主将（商4＝鹿児島実）が区間賞、5区の横手健（政経3＝作新学院）が区間新の走りで猛追すると、8区の大穴野秀敏（政経4＝鹿児島城西）も区間賞の走りで2位まで順位を上げた。区間記録を更新した横手が大会MVP賞に選ばれた。（明大スポーツより転載）

## 明治神宮野球 またしても準優勝

### 東京六大学野球秋季リーグは優勝

あまりにもあっけない幕切れだった。9回2死三塁、1ボール2ストライク。今永が投じた内角高めの直球に植田弘樹内野手（文4＝関西）のバットは空を切った。日本一の夢絶たれた選手たちは、歓喜に沸く駒大ナインをただ呆然と見つめることしかできなかった。（明大スポーツより転載）



## 多摩支部トップ4

20番目の地域支部として、福生地域支部が正式に承認される

多摩支部第11回定時総会・講演会・懇親会が大盛会裏に開催される

21番目の地域支部として、稲城地域支部が誕生

企画事業、いよいよ定着・拡大  
(駅伝・ディスクゴルフ・野球・ラグビー等)

**編集後書** 歳末選挙で締めくりという慌ただしい一年も残り数日。高校生ランキングでは今年も第1位、受験生も8年連続10万人超え、文部科学省のスーパーグローバル支援事業に採択されるなど母校のがんばりは頼もしい限りです。加えて、懸念されていた「司法試験合格」を支援する「法務研究所」が開所したことは、法科大学院の存亡をかけたものであり期待したい。

編集委員会